

第4次玉名市男女共同参画計画に掲げる指標達成実施状況報告

NO	項目	計画策定期 の値	最終年度目 標 (R9)	R6実績値	R6年度の実施状況	担当課
1	市における審議会等への女性委員の登用目標	24.60%	35.00%	26.3% (R5)	行政推進委員会委員長（副市長）名で、全所属長宛に登用率向上のための「具体的行動」を通達した。 ・各種委員会の「次期改選日」調査を実施（8/7） ・審議会等の女性登用率を調査し、HPにて公表した（12/13）	人権啓発課
2	市女性職員の管理職登用	5. 9 % (令和4年度当初値)	15.00%	3.90%	令和6年度の女性職員の管理職登用率は3.9%（2人／51人）であり、人数の比較では1人減となったが、係長級以上に占める女性職員の割合は33.2%（90人／271人）となっており、徐々に女性管理職候補の層は厚くなっている。 研修については、1年をかけて研究活動を行うことで今後の地域経営をリードする人材を創る「地域経営部会」に女性職員2人を派遣しており、また、キャリア形成の意識付けを図る観点から4年目の職員（性別問わず）を対象に「キャリアマネジメント研修」を実施した。	総務課
3	女性農業者の研修参加者数	72人 (令和元年度実績値)	85人	49人	●玉名市認定農業者連絡協議会（本部） 女性部研修会 未実施 ●玉名支部認定農業者協議会 女性部研修会 実施日：R 7. 2. 4 参加者：7名 ●岱明支部認定農業者協議会 女性部研修会 実施日：R 7. 2. 4 参加者：5名 ●横島支部認定農業者協議会 女性部研修会 実施日：R 7. 1. 15 参加者：22名 ●天水支部認定農業者協議会 女性部研修会 実施日：R 6. 9. 4 参加者：15名 参加者合計：49名 各支部においては、計画的に女性部研修会を開催できたが、本部の女性部研修会については農作業の繁忙期等を背景に研修時期の調整が取れず未開催となった。そのため全体的な研修参加者については、目標値に届かず目標達成ができなかった。	農業政策課
4	「男女共同参画社会基本法」の認知度	27.20%	60.00%	—	啓発講座開催時に「男女共同参画社会基本法」について説明を行った。また、講座終了後、追跡調査を行い、認知度の確認を行った。情報発信は重要であることから、広報・ホームページ等で啓発を図った。	人権啓発課
5	市の女性区長数	6人	10人	9人	区長の選出は、地域自治に関わることであるため、行政は関与できない。）	総務課

NO	項目	計画策定期 の値	最終年度目 標 (R9)	R6実績値	R6年度の実施状況	担当課
6	固定的性別役割分担意識 に同感しない市民の割合	77.20%	持続的に 増加させる	—	固定的性別役割分担意識解消に向け、講座のテーマとして企画し、周知・啓発を行った。また、広報紙・ホームページ等で男女共同参画計画に関する基礎的内容を踏まえ幅広く市民に周知した。	人権啓発課
7	「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	24.10%	50.00%	—	「ワーク・ライフ・バランス」の実現のため、国の取組みや関係法令・制度等を広報紙及びホームページで、市民や事業所等に広く周知・啓発を行った。	人権啓発課
8	放課後児童健全育成事業 実施数	19クラブ	21クラブ	22クラブ	令和6年度より放課後児童健全育成事業が22クラブとなり、市民に適切な子育ての環境の場を提供できている。	子育て支援 課
9	性的少数者（L G B T 等）の理解度	57.10%	75.00%	—	8月、11月、1月に職員向けの人権研修を行い、その中に、「性的少数者（LGBT等）の理解を深めるDVD視聴を取り込んだ研修を行った。各年代層の職員にも理解促進を図ることができた。 一般の方も参加できるように周知を行ったが、一般参加はなかった。 男女共同参画週間に併せ、市内4図書館での関連図書の設置、本庁舎ロビーでのパネルの展示、街頭啓発活動等にて啓発を行い、理解を促した。	人権啓発課
10	レディースがん検診の 受診率	子宮頸がん 14.0% 乳がん 32.0%	子宮頸がん 20.0% 乳がん 40.0%	子宮頸がん 7.0% 乳がん 34.0%	〈子宮頸がん検診〉 病院での検診実施（R7.1月31日まで） 集団検診・夏季27日間実施 冬季4日間実施 21歳無料クーポン対象者へ送付済み 〈乳がん検診〉 病院での検診実施中（R7.1月31日まで） 41歳無料クーポン対象者へ送付済み 未受診者には9月末に勧奨のハガキを送付 冬季集団検診に向けてSNSを活用した受診希望再調査を行った。	保健予防課
11	女性消防団員数	12人	16人	14人	3月末までに女性消防隊の会議を5回開催し、荒尾玉名地区の研修に1回参加した。また、秋の火災予防運動の一環として伊倉保育所で啓発活動を行った。 会議や研修を重ね、隊員の資質向上を図り、秋の火災予防運動等の啓発活動を通して女性消防隊の活動をアピールし隊員数の確保に努める。	防災安全課